

会 議 録

会 議 名	第27期小金井市公民館企画実行委員の会議 第4回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	令和4年11月1日(火) 午前9時30分～11時		
開 催 場 所	公民館貫井南分館学習室B		
出 席 委 員	阿部光子委員、今村誠委員、大野芳輝委員、 齊藤美恵子委員、高橋陽子委員		
欠 席 委 員	金ヶ江博紀委員		
事 務 局 員	松本浩明主任、永嶋汐美、伊藤修主事		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者 数	なし
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会 議 次 第	<p>1 公民館運営審議会(10月12日開催)の報告</p> <p>2 令和4年度講座について</p> <p>3 令和5年度講座案について</p> <p>4 各講座の報告と計画</p> <p>〔報告〕市民講座「男のための掃除道入門 お掃除への最初の一歩」、成人学校「空手の形を体験してみよう」、成人学校「ノルディック・ウォークを始めよう」</p> <p>〔計画〕高齢者学級「けやき学級」、成人学校「楽しくトレッキング 都民の森～紅葉編・檜原村」、市民講座「怒る人にも怒れない人にも役立つ大人のアンガーマネジメント講座」、市民講座「私の、家族の、高齢者への備えを考えよう “成年後見人制度について学ぶ”」、市民講座「山本有三を知る」</p> <p>5 その他 1月の企画実行委員の会議日程について</p> <p>次回の日程 令和4年12月6日(火) 午前9時30分～ 公民館貫井南分館学習室B</p>		

審議経過（主な発言要旨等）

1 公民館運営審議会（10月12日開催）の報告

(1) 報告事項

ア 東京都公民館連絡協議会委員部会の報告について

第6回定例会が9月29日（木）午後2時から国分寺本多公民館で開催。10月1日（土）午後1時30分から委員部会研修会「コロナ禍における公運審の動きと見えてきた新しい公民館のあり方」をテーマに実施。国分寺市の基調講演、狛江市、国立市、東大和市の発表、倉持東京学芸大学准教授のファシリテーターでのシンポジウム、グループワーク、倉持氏の講評となった。

イ 公民館事業の報告について

貫井南分館から、成人学校「声で身体を整えよう」を提出。委員からは声を出すことで、参加者は常時マスクをしていたかとの質問があった。また、東分館の「ひがし子ども司書養成講座」は、公民館から学校でも実施はどうかとの具申で繋がりをもつのはどうかとの意見も出された。

(2) 審議事項

ア 公民館事業の計画について

貫井南分館からは提出なし。貫井北分館の子育て支援講座では対象をパパにしていることは、パパ同志の交流から利用者の拡大に繋がる。ただ、単発の講座ではなく連続講座で更に交流が促進できる仕組みがあればよいとの意見があった。

(3) その他

「小金井市公民館中長期計画」及び「小金井市行財政改革2025」に基づく公民館緑分館の委託化等について

ア 緑センターの委託について

令和6年4月からの本格委託に向けて、その間、サウンディング調査（受託してくれそうな業者との情報交換及び委託要件の整備）、利用者説明会、プロポーザル、準備期間を順次行っていく予定。なお、青少年センター機能としての「宿泊」、「野外調理場」については、前者は委託内容に含めるが、後者については今の浴恩館公園敷地内から緑センター敷地内への移転が、まだ整理中であり一旦保留となる。

イ 公民館使用料について

使用料の過去の経過の説明から、直近の小金井市行財政改革2025では、公民館使用団体未利用時間の使用料有料化、公民館中長期計画の基本的考え方

を踏襲し、有料化を実施するとしたが、未利用時間帯の有料化による収入額が年間3万円前後となる見込み。有料団体と無料団体の線引きをどうするかが難しい。

2 令和4年度講座について

成人学校の1回分（未定分）について、来年度のNHK朝ドラ主人公となる植物学者「牧野富太郎」を紹介する講座を行う予定で進めることとなった。事前に練馬区立牧野記念庭園に伺い、休日であれば個別（学芸員）対応も可能ということであり今後、日程等調整が必要となる。

3 令和5年度講座案について

前回の会議の中で、成人学校、市民講座等のカリキュラム案について、今後追加、変更があれば、その都度修正を加えていくこととなった。次回も更なる追加などがあれば、提案してもらおうこととなった。

4 各講座の報告と計画

【報告】

○市民講座「男のための掃除道入門 お掃除への最初の一步」

10月8日（土）午前10時から正午に実施。募集20人のところ13人の応募、当日11人（男性7人、女性4人）、参加年代は50歳から80歳代の参加となった。講師は一般社団法人日本そうじ協会の掃除道認定講師の白坂裕子さん、掃除をしてみようというきっかけ作りの話しから、ブロックを使ったワークで掃除の事前準備の大切さなど、掃除へ仕向ける気持ちの持ち方へアプローチしていく所は参加者にも共感されていたようであった。

○成人学校「空手の形を体験してみよう」

9月10日（土）から隔週で10月22日（土）まで、午後2時から3時30分に実施。当初全4回であったが、9月24日（土）は講師の都合で中止となった。募集24人のところ応募18人、受講生は17人、参加率は50%と低い結果となった。原因としてこの時期に近隣小学校の運動会、地域でのイベントが重なったことによるものと分かった。事前に調査し把握したうえでの計画が必要であったことは反省すべき課題となった。それでも、初めての動きに戸惑いながらも空手の形を行った参加者には、刺激となったようである。

○成人学校「ノルディック・ウォークを始めよう」

10月29日（土）午前10時から正午に都立武蔵野公園で実施。当日は秋晴れで、この講座を開催するうえでは絶好の日和となった。講師に東京都ノルディック・ウォーク連盟代表理事の柴田氏からノルディック・ウォークについて、普通に歩くのとの違い、なぜ今、ノルディック・ウォークなのかとの話し、実技としてポールの長さの調整、ポールの着き方の講習を受けた。その後、実際に公園内を1列になって歩いたり、ポールを使ってのストレッチは脳トレも交えての実技となった。また、連盟から指導員がもう一人来ていただき、歩きながら体の動きを修正などとても具体的な指導を受けることができ、参加者も疑問点も解消できたようでとても有意義な講習となった。

【計 画】

○高齢者学級「けやき学級」

10月26日（水）には野外学習として葛飾区柴又へ帝釈天参道から帝釈天、山本亭、寅さん記念館（山田洋二ミュージアム）へ赴いた。天候は秋晴れで行動しやすい天候となった。学級生20人のうち体調不良や体調不安のため7人の不参加が出たことは残念であった。今回は昼食後、帰りのバスに乗り込むまで班行動となったことで更に班内でのコミュニケーションが取れようであった。

11月9日（水）でけやき学級は閉講式を迎えることとなるが、班が選んだ講座ベスト3や学級生の感想発表、閉会の言葉など、人選を行わなければならないことについては事前調整を行う。また、恒例の余興については企画実行委員が行う予定であるが、学級生にも事前に何かできるか11月2日（水）に図ることとなった。

○成人学校「楽しくトレッキング 都民の森～紅葉編・檜原村」

定員10人のところ応募が23人（男性6人、女性17人）で抽選結果、男性3人、女性7人となった。50歳代1人、60歳代2人、70歳代6人、80歳代1人、平均年齢72歳（男性73人、女性71歳）となった。事前学習は11月2日（水）午後2時から4時に行い、実施は11月8日（火）午前8時15分に本庁舎駐車場からマイクロバスで出発することとなる。

○市民講座「怒る人にも怒れない人にも役立つ大人のアンガーマネジメント講座」

定員20人のところ定員に達したが、30人まで受講可能とし延長して受け付けることとなった。現在、30歳代から70歳代までの応募があり、50歳代が多くなっている。地域別も均一にばらけている状況となっている。

○市民講座「私の、家族の、高齢者への備えを考えよう “成年後見人制度について学ぶ”

高齢期に必要なになる様々な制度を知るきっかけとして「成年後見人制度」のメリット、デメリットを学ぶことを想定、2月17日（金）午前10時から正午に実施予定。講師に市内在住の行政書士にお願いすることとなった。

○市民講座「山本有三を知る」

1月2日（水）から申込が始まる。

5 その他

- ・1月の企画実行委員の会議日程について

第一火曜日の休館日が3日で年始休館を重なるため、4日の午前中に会議を行う予定。

次回の日程（予定） 令和4年12月6日（火）午前9時30分～ 学習室B

第36期小金井市公民館運営審議会 第10回審議会の報告

(令和4年10月12日開催・第二庁舎801会議室)

1 報告事項

ア 東京都公民館連絡協議会委員部会の報告について

第6回定例会が9月29日(木)午後2時から国分寺本多公民館で開催。10月1日の委員部会研修会のリハーサルを実施。また、10月1日(土)午後1時30分から委員部会研修会「コロナ禍における公運審の動きと見えてきた新しい公民館のあり方」をテーマに実施。国分寺市の基調講演、狛江市、国立市、東大和市の発表、倉持東京学芸大学准教授のファシリテーターでのシンポジウム、グループワーク、倉持氏の講評となった。

イ 公民館事業の報告について

貫井南分館から、成人学校「声で身体を整えよう」を提出。委員からは声を出すことで、参加者は常時マスクをしていたかとの質問があった。その他、発信力向上のために、ホームページ「資料」の箇所にチラシを掲載してはとの意見があった。また、東分館の「ひがし子ども司書養成講座」は、公民館から学校でも実施はどうかとの具申で繋がりをもつのはどうかとの意見も出された。

2 審議事項

ア 公民館事業の計画について

貫井南分館からは提出なし。貫井北分館の子育て支援講座では対象をパパにしていることは、パパ同志の交流から利用者の拡大に繋がる。ただ、単発の講座ではなく連続講座で更に交流が促進できる仕組みがあればよいとの意見があった。

3 その他

「小金井市公民館中長期計画」及び「小金井市行財政改革2025」に基づく公民館緑分館の委託化等について

(1) 緑センターの委託について

令和6年4月からの本格委託に向けて、その間、サウンディング調査(受託してくれそうな業者との情報交換及び委託要件の整備)、利用者説明会、プロポーザル、準備期間を順次行っていく予定。なお、青少年センター機能としての「宿泊」、「野外調理場」については、前者は委託内容に含めるが、後者については今の浴恩館公園敷地内から緑センター敷地内への移転が、まだ整理中であり一旦保留となる。

(2) 公民館使用料について

使用料の過去の経過の説明から、直近の小金井市行財政改革2025では、公民館使用団体未利用時間の使用料有料化、公民館中長期計画の基本的考え方を踏襲し、有料化を実施するとしたが、未利用時間帯の有料化による収入額が年間3万円前後となる見込み。有料団体と無料団体の線引きをどうするかが難しい。

次回の日程 令和4年11月9日(水)午前10時から第二庁舎801会議室

令和4年度 公民館貫井南分館主催成人学校「牧野富太郎を知る」(案)

主旨：来年度、NHK朝ドラの主人公となる「**牧野富太郎**」を紹介する。

世界的に著名な植物学者である「牧野富太郎」(1862年～1957年)

練馬区立牧野記念庭園

大正15年(1926年)から昭和32年(1957年)に死去するまで約30年間住んだ居宅と庭の跡。

昭和33年(1958年)に区立庭園となった。

富太郎は、土佐国(現高知県)生まれ、19歳で上京し、東京帝国大学の助手・講師を務めた。

明治22年(1889年)日本人として初めてヤマトグサに学名を与え、1,000種の新種、1,500種の新変種を命名。40万点の標本を採集しました。

文化勲章受章、名誉練馬区民、名誉都民

講師候補 練馬区立牧野記念庭園学芸員

この記念庭園に学芸員が4人いる。

※平日はかなり忙しく、休日であれば個別対応可能。

牧野富太郎 【経歴】

佐川小学校(2年で中退)理由：造り酒屋のあととりであったため。

中退後、好きな植物採集に明け暮れる。17歳になると高知師範学校の教諭・永沼小一郎を通じて…

その後、上京し東京帝国大学理学部植物学教室の矢田部良吉教授を訪ね、同教室に出入りして文献・資料等の使用を許可される。

講座実施時期(案) 令和5年3月5日(日) 学習室AB 午前10時～正午

※平日は忙しく、休日ならば対応可能とのこと。平日でも日が合えばOKだが難しい。

市報 2/15号 月刊こうみんかん 2月号

講座開催が決まり次第、早めに連絡欲しい。… 練馬区立牧野記念庭園 10/31 聞く。

貫井南分館

市民講座

男のための掃除道入門

—お掃除への最初の一步

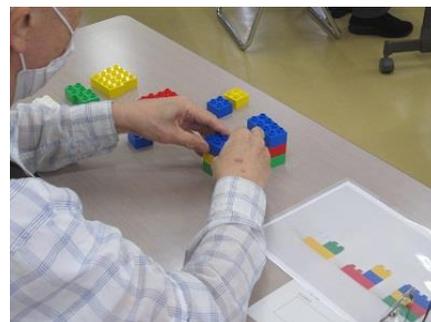
目的 掃除道を学ぶことで、実践する喜びを感じ、日常の生活を豊かにする心のゆとりを作り出す。

とき・ところ・内容

10月8日(土) 午前10時～正午

公民館貫井南分館

「掃除とは」、「掃除の定義」、「掃除の効果」などの話しとブロックを使ったワークで掃除のコツを掴む。



講師 白坂 裕子さん(一般社団法人日本そうじ協会・掃除道認定講師)

募集方法 市報9月15日号 月刊こうみんかん9月号、ホームページ、ポスター、チラシ、ツイッター

応募・受講者人数等

募集人数 20人(申込順) 応募人数 13人

受講生 11人(男性7人、女性4人) 受講率85%

参加年代 50代1人、60代5人、70代4人、80代1人

担当企画実行委員 金ヶ江博紀 **担当職員** 松本 浩明

職員感想

掃除をしてみようというきっかけ作りのお話からブロックを使ったワークで掃除の事前準備の大切さなど、掃除へ仕向ける気持ちの持ち方へアプローチするところは参加者も共感していたようである。また、講師への質問も相次ぎ、対話型の講座となつてとても有意義であった。

参加者感想

- 掃除の精神論の内容が、特に印象になりました。入門編でしたが、まず、スタート段階で、やる気を促していただいたことが嬉しく思いました。
- 参考になりました。ユニークで面白かった。
- 掃除に対する教え方が変わりました。楽しく掃除したい。
- 掃除をしようというきっかけになったので良かった。
- 掃除は闇を払う。郵便物は空中戦で！部屋の写真を撮ってみる。ホコリは正直等々、有意義な話を聞けて良かったです。

貫井南分館

成人学校

空手の形を体験してみよう

目的 攻撃と防御の技を一連の流れとして組み合わせた演武である空手の「形」の動きを体感して、奥深さを知るとともに健康維持の意識も高め、今までの生活の中に新たな文化を採り入れる。

とき・ところ

9月10日(土)、10月8日(土)、10月22日(土) 全3回

いずれも午後2時から2時30分まで、公民館貫井南分館学習室ABで。

※9月24日(土)は急遽、講師が新型コロナウイルス感染の濃厚接触者となったため中止。

内容 空手の基本動作から形の一連動作を体験する。

講師 ^{すのう}数納 秀明さん(空手団体代表)

募集方法 市報8月15日号 月刊こうみんかん8月号、
ホームページ、ポスター、チラシ、ツイッター



応募・受講者人数等

募集人数24人(申込順) 応募人数18人 受講生17人(男性6人、女性11人)
受講率50% 参加年代 9歳以下5人、10歳代2人、30歳代2人、
40歳代2人、50歳代2人、60歳代3人、70歳代1人

担当企画実行委員 大野 芳輝 **担当職員** 松本 浩明

職員感想

参加者は普段しない身体の動きを行うことで心と身体の刺激が得られたようで、また、異文化に触れることができた喜びを感じていたようでした。ただ、反省として、この時期、運動会や地域のイベントがあり参加数が少なくなってしまったことが反省点として今後考慮していきたい。

参加者感想

- 身体のトレーニングだけでなく、脳のトレーニングにもなりました。筋肉痛になるくらい良く効きました。頭で思うより身体を動かすのは中々難しかったです。気合のタイミングも気持ち良かったです。
- ツキ！って形だけしても身体が温くなりました。普段の運動不足を感じました。
- 楽しかったです。細く長く続けられたらと思いました。

貫井南分館

成人学校

ノルディック・ウォークを始めよう

目的 歩きの中でポールを使用し、普段使わない筋肉を刺激し、全身を使っでの運動を行うことで健康体を心身共に維持することと運動志向の向上を目指す。

とき・ところ・内容

令和4年10月29日（土）午前10時～正午
都立武蔵野公園内

【お話し】・ノルディック・ウォークとは

- ・普通に歩くのとどう違うか
- ・なぜ今、ノルディック・ウォークなのか

【実技】・ポールの長さの調整 ・ウォーミングアップ

- ・ポールの着き方の基本練習 ・公園内を歩く



講師 芝田 竜文さん（東京都ノルディック・ウォーク連盟代表理事）

募集方法 市報10月1日号 月刊こうみんかん10月号、ホームページ、ポスター、チラシ、ツイッター

応募・受講者人数等

募集人数20人（多数抽選） 応募人数13人 受講生11人（男性5人、女性6人）
受講率85% 参加年代 60歳代4人、70歳代5人、80歳代2人

担当企画実行委員 金ヶ江 博紀 **担当職員** 松本 浩明

職員感想

天候に恵まれ、秋晴れの中の実施で指導方法も良く、参加者は気持ちよくポールを使っでのウォーキングを楽しんでいた。小金井市はこのような運動を行う公園が多くあることに改めて、環境が良いことに気づかされた。

参加者感想

- 説明も良かったが、個人的に見てもらい直す点を教えてもらえたのは良かった。日頃のウォーキングをこれにしてみたいと思いました。
- 昭和レトロな私ですが、ご指導のおかげで楽しい学びのひと時となりました。これからも歩くときに気を付けたいと思います。
- 歩きにくく感じていたので、大変有難い機会でした。
- お天気にも恵まれ、全身運動で心も身体もスッキリしました。楽しかった。
- ご指導の内容も良く分かり、額に汗が出る良い運動になりました。主人と一緒に出掛けたのは久々。病院に行く以外の楽しい運動でした。

成人学校「楽しくトレッキング～都民の森・紅葉編～」応募・抽選結果

応募総数 24人（男性7人 女性17人）その後、1人キャンセル

年代別内訳

40代：2人 50代：3人 60代：10人 70代：8人 80代：1人

町名別内訳

東町4人 梶野町1人 緑町4人 桜町1人 本町3人 中町3人
前原町4人 貫井北町1人 貫井南町3人

抽選結果 10人（男性3人、女性7人）

年代別内訳

50代：1人 60代：2人 70代：6人 80代：1人

平均年齢 72.2歳（男性：73.3歳 女性：71.7歳）

町名別内訳

梶野町1人 緑町1人 本町2人 中町2人 貫井南町3人 前原町1人

※参考までに

R3年度 9月開催 平均年齢 66.8歳

（男性：70.6歳 女性：63歳）

11月開催 平均年齢 66.3歳

（男性：73歳 女性：62歳）

R4年度 5月開催 平均年齢 70.3歳

（男性：74歳 女性：69歳）

アンガーマネジメント講座応募状況 R4.11.1現在

年代別

30代 1人 40代 3人 50代 6人 60代 4人 70代 3人

町名別

貫井南4人 貫井北3人 本町6人 桜町2人 前原町3人 中町1人 東町1人

応募方法

窓口 2人 メール 7人 電話 11人

企画書

タイトル「私の、家族の、高齢期への備えを考えよう
“成年後見人制度”を学ぶ」（仮題）

回数 1回

場所 公民館貫井南分館学習室 AB

開催時期 2月17日（金）午前10時～正午

講師 久保 晶子さん（行政書士）

目的 自分または家族など、介護が必要になった際に知っておくべき様々な制度を知るきっかけとして、「成年後見人制度」の基礎を学ぶ

対象 市内在住・在勤・在学の方 20人（申込順）

講師料 12,000円×2時間 = 24,000円
（但し、所得税及び復興特別所得税10.21%が控除されます）

公民館準備機材 マイク・プロジェクター・ノートPCなど

広報 市報1月15日号、月刊こうみんかん1月号
市HP、公民館ツイッター

法定後見制度（認知症などの財産管理などのため、裁判所を介し第三者の後見人をつける）

任意後見制度（自分で選んだ後見人に管理をお願いする）

二種類の制度について、一時間ずつ程度前後編として制度内容メリットデメリットについて学ぶ。